

今回の広がり交流会では、太陽の広場運営委員会の西田裕さん、地域活性ファシリテーターの東原龍一さんにお越しいただき、参加者と一緒に市民活動・地域活動を語りました。

「太陽の広場」のこれまでの活動について、西田裕さんからお話をいただきながら、東原龍一さんの地域での実践活動も織り交ぜながら語り合いました。参加者の方で地域活動に関わるようになり活動運営の改善を図ったお話もありました。

自らの義務と責任を果たし、顔見知りネットワークをつくることや、折り合いをつけ調整しつつ役割の重要性や、次世代には自由にやってみて仲良くなってから教えて行くことや、協力者・反対者もいるが活動を行い、決して躊躇するのは良くないことなど、色々な活動のヒントを皆さんからいただいた交流会となりました。



座談会形式で語り合いました。

### 「地域の防災訓練が開催」

同日午前中は、「堤町ふれあい集会所」と「堤町一丁目公園」で防災訓練があり参加しました。

非常時に役立つロープの結び方と使い方、煙体験、簡易タンカーの作り方を実践しました。

家族の避難場所を決める、地域の避難場所を決めることなど、普段から備え、非常時は自分たちでやっていくことを、みなさんが身をもって体験されました。



非常時に倉庫内の道具を使う際の説明（堤町一丁目公園）



「太陽の広場」の現地も見学。

シリーズ 地域を知ろう！⑫

## 「大正南地区の自主防災訓練」

このシリーズは、地域活動を知ることで、地域活動に市民活動団体が参加・協働できるためのヒントを探ることを目的に、取材を行いシリーズで掲載しています。

大正南地区福祉委員会委員長の村井松之助さんに、10月21日（日）に開催された「自主防災訓練」についてお話をお聞きしました。

大正南地区としての「自主防災訓練」は今年初めて実施され、同日同会場で開催された「第38回 市民スポーツ祭」の前に開催されました。

自主防災訓練の主催は、大正南地区福祉委員会です。

開催の経緯は、例年「市民スポーツ祭」の会場である大正小学校が耐震工事のため使用できなくなったことから、例年開催する10月の「市民スポーツ祭」を新しい会場として「大和川河川敷公園」で開催することとなりました。

会場の「大和川河川敷公園」には離れた場所にまたわずかなトイレしかないことから、災害時の対策もかねて自主防災訓練を同日に開催する事になりました。

「大和川河川敷公園」は、堤防、大正橋、自転車道、公園と全て国・大阪府・八尾市と維持管轄が違うことから、会場の使用許可申請書を自ら申請し、また草刈りの要望書を提出されたことなど、初めてのことで大変苦労された話もお聞き致しました。

当日の防災訓練は約1000名が参加し、バケツリレー、簡易タンカーリレー、放水体験を行った後、非常食試食が行われました。主催者の自主的な姿に、地域や行政から協力をいただいた点や、主催者の皆さんが初めての取組みを通じて自信を持ったことなどをお聞きし、協力関係・つながりで新しい取組みが成功されました。大変勉強になりました。ありがとうございました。



▲ 放水体験



▲ 簡易タンカーリレー



▲ バケツリレー